

大会プログラム

11月29日(金)

- 15:30～17:30 (120分) 理事会

11月30日(土)

- 8:20～ 受付開始

- 8:55～ 大会長挨拶

- 9:00～10:10 (70分) 一般演題 1

座長：藤田 真敬（防衛医科大学校 防衛医学研究センター 異常環境衛生研究部門）

(0A-1) 「航空環境の酸素の指針」

谷口 佳奈美（大分大学 医学部 医学科）

(0A-2) 「パイロットのサプリメント摂取と指針」

森井 翔太（大分大学 医学部 医学科）

(0A-3) 「米国航空身体検査医資格の登録と課題」

石川 義弘（横浜市立大学大学院医学研究科 循環制御医学）

(0A-4) 「航空自衛隊における空間識訓練に対する取り組み」

峰 政貴（航空自衛隊 航空医学実験隊）

(0A-5) 「パイロット訓練生からみた乗員育成と医学教育」

石川 真祈（崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科）

(0A-6) 「成田国際空港クリニック 2018 年度旅客患者の検討」
赤沼 雅彦 (日本医科大学 成田国際空港クリニック)

(0A-7) 「” Getting sea legs” の検討—第 2 報」
長谷川 達央 (明石市民病院 耳鼻咽喉科)

● 10 : 20～11 : 10 (50 分) 一般演題 2

座 長 : 田中 邦彦 (岐阜医療科学大学 大学院保健医療学研究科、
同 保健科学部 放射線技術学科)

(0A-8) 「ハイブリッドトレーニングシステム装置付属自転車エルゴメータの遂行性と
生理的応答」
大本 将之 (久留米大学)

(0A-9) 「卵胞期における水中歩行運動が尿量に及ぼす影響」
和田 拓真 (川崎医療福祉大学)

(0A-10) 「微小重力環境に於ける診断学 一起座呼吸について— その 3」
吉田 泰行 (威風会栗山中央病院 耳鼻咽喉科 健康管理課)

(0A-11) 「宇宙飛行での眼の変化」
篠島亜里 (慶應義塾大学 医学部 眼科学教室)

(0A-12) 「視運動性眼振と開眼起立時血圧応答の関係」
田中 邦彦 (岐阜医療科学大学 大学院保健医療学研究科、
同 保健科学部 放射線技術学科)

● 11 : 10～12 : 00 (50 分) 一般演題 3

座 長 : 野村 泰之 (日本大学医学部耳鼻咽喉 頭頸部外科学分野)

(0A-13) 「体位変換に伴う脳の変位・変形」
林 成人 (兵庫県災害医療センター 神戸赤十字病院)

- (OA-14) 「常圧低酸素環境下における脳循環と認知機能の変化」
今村 崇裕 (航空自衛隊航空医学実験隊)
- (OA-15) 「軽度過重力負荷中の動的脳血流自動調節能の経時変化」
小西 透 (日本大学 医学部 社会医学系衛生学分野、
防衛省 航空自衛隊航空医学実験隊)
- (OA-16) 「模擬微小重力環境 (6° Head-down) における鼻腔通気度」
森田 優登 (日本大学医学部耳鼻咽喉 頭頸部外科学分野)
- (OA-17) 「模擬微小重力環境 (6° Head-down) における耳管機能検査」
河野 航 (日本大学医学部耳鼻咽喉 頭頸部外科学分野)

● 12 : 00~12 : 40 (40 分) 昼食休憩

● 12 : 40~13 : 40 (60 分) 日本宇宙航空環境医学会総会・評議員会

● 13 : 50~15 : 20 (90 分) シンポジウム

「将来の他惑星移住を目指して:

Biosphere 2 での京都大学有人宇宙キャンプの取り組み」

座 長 : 寺田 昌弘 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-1) 「京都大学宇宙総合学研究ユニットの取り組み: 人材育成を目指して」

寺田 昌弘 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-2) 「火星環境調査に基づく人類居住区の建設地選定」

平井 颯 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-3) 「火星での生活を実現するために ~持続可能な生活スタイルの確立~」

久保 朋美 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-4) 「Space Camp at Biosphere 2 が与えてくれたもの」

佐藤 啓明 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-5) 「Space Camp at Biosphere 2 (SCB2)
～火星上での宇宙放射線被曝シミュレーション～」
宮下 裕策 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

(S-6) 「Space Camp at Biosphere 2 での学び」
橋本 亜美 (京都大学宇宙総合学研究ユニット)

● 15 : 30～17 : 00 (90 分) 特別セッション
「同志社 宇宙 DREAM プロジェクト」

座 長：大平 充宣 (同志社大学研究開発推進機構、同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-1) 「同志社 宇宙 DREAM プロジェクト」
大平 充宣 (同志社大学研究開発推進機構、同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-2) 「長期有人宇宙探査のためのその場資源利用研究」
後藤 琢也 (同志社大学理工学部・研究科、同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-3) 「脂肪由来間葉系幹細胞の脂肪細胞への分化能に及ぼす微小重力および
運動の影響」
加藤 久詞 (同志社大学スポーツ健康科学部、
同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-4) 「ラットの身体運動と脳神経活動それぞれを増強する条件づけ訓練」
櫻井 芳雄 (同志社大学脳科学研究科、同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-5) 「荷重関連の感覚入力による歩行の神経筋調節」
上林 清孝 (同志社大学スポーツ健康科学部・研究科、
同志社大学宇宙医科学研究センター)

(SS-6) 「負荷制御型トレッドミルによる歩行解析」
伊藤 彰人 (同志社大学理工学部・研究科、同志社大学宇宙医科学研究センター)

● 18 : 30～20 : 30 (120 分) 懇親会 (ホテルブエナビスタ)

12月1日(日)

● 8:20～ 受付開始

● 8:40～9:30 (50分) 一般演題 4

座長：三宅 将生(福島県立医科大学 医学部 細胞統合生理学講座)

- (OB-1) 「マウス胃組織への微小重力環境の影響に対する組織学的解析」
暮地本 宙己(東京慈恵会医科大学 細胞生理学講座 宇宙航空医学研究室、
帯広畜産大学 原虫病研究センター、栄養生化学研究室)
- (OB-2) 「ラット過重力(加速)負荷モデルを用いた+5Gz, 2分負荷と血圧反応」
丸山 聡(航空自衛隊 航空開発実験集団 航空医学実験隊 第2部)
- (OB-3) 「ラット過重力(加速)負荷モデルを用いたストレス評価」
晝間 恵(防衛医科大学校 生理学講座)
- (OB-4) 「高機械負荷における心室乳頭筋被動張力の増加による筋弛緩期の延長」
Min Yin(海南医学院 国際教育スクール MB BCh セクション)
- (OB-5) 「幼若ラットの管腔臓器に対する宇宙飛行の影響
～Neurolab (STS-90)での組織解析から」
三宅 将生(福島県立医科大学 医学部 細胞統合生理学講座)

● 9:30～10:20 (50分) 一般演題 5

座長：江川 達郎(京都大学人間 環境学研究科)

- (OB-6) 「化学的皮膚冷刺激による運動神経動員制御への影響」
田村 晃太郎(花王(株) 生物科学研究所)
- (OB-7) 「筋小胞体タンパク質サルコリピンは筋萎縮を促進する」
谷端 淳(東京慈恵会医科大学 細胞生理学講座宇宙航空医学研究室)

(OB-8) 「骨格筋萎縮に対する核酸摂取がユビキチン依存性筋タンパク分解酵素発現に及ぼす効果」

宅和 美穂 (神戸大学大学院 保健学研究科リハビリテーション科学領域)

(OB-9) 「骨格筋細胞可塑性発現における TRPV4 と機械的刺激の受容」

萩原 ありさ (豊橋創造大学大学院 健康科学研究科)

(OB-10) 「後肢懸垂時に発生する糖化ストレスによるマウスヒラメ筋萎縮への影響」

江川 達郎 (京都大学人間 環境学研究科)

● 10:30~12:00 (90分) 宇宙航空環境医学若手の会 公開シンポジウム
「誰でも宇宙に行ける時代」 第1部「誰でも宇宙を目指せる時代」

座長: 鈴木 優子 (大阪医科大学 医学部医学科 6年)

(YS-1) 「多様化する学生プロジェクトの今とこれから」

林 誠一 (聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科)

(YS-2) 「宇宙医療ハッカソン ～宇宙医学を未来へつなぐ～」

宮下 裕策 (京都大学 医学部 医学科 1年)

大西 美海 (都立日比谷高等学校)

寺塩 祐月 (私立清風南海高等学校)

濱田 帆花 (私立同志社高等学校)

橋都 藍子 (都立日比谷高等学校)

水上 暖大 (私立灘高等学校) ※高校生は50音順

(YS-3) 「生存から生活へ ～学生の描く、宇宙の未来像～」

Space Medicine Japan Youth Community 石橋 拓真 (東京大学)

宇宙開発フォーラム実行委員会 五味 篤大 (東京大学)

宇宙と食の若手研究会 都築 則彦 (千葉大学)

宇宙建築学サークル TNL 長谷川 翔紀 (東京工業大学)

● 12:00~12:30 (30分) 昼食休憩

● 12:30～14:00 (90分) 宇宙航空環境医学若手の会 公開シンポジウム
「誰でも宇宙に行ける時代」 第2部「民間宇宙旅行」

座長：河野 史倫 (松本大学 大学院 健康科学研究科)

(YS-4) 「民間宇宙旅行 その扉がまもなく開く」

浅川 恵司 (株式会社クラブツーリズム・スペースツアーズ 代表取締役社長)

(YS-5) 「宇宙旅行を安全に「楽しむ」には? - 救急医療の視点から」

水野 光規 (あいち小児保健医療総合センター 医師)